

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 09 2013

「大きな変化は良くない」号

昨年に引き続き、今年も8月の来館者が26日に4000人を超えました。今人気の3世代での旅行でビクターセンターに立ち寄ったお客様もたくさんいました。また、光るキノコ無料観察会も雨に降られた日が少なく、一日平均100人のお客様に楽しんでもらいました。子供たちの自由研究に使ってもらえたでしょうか？

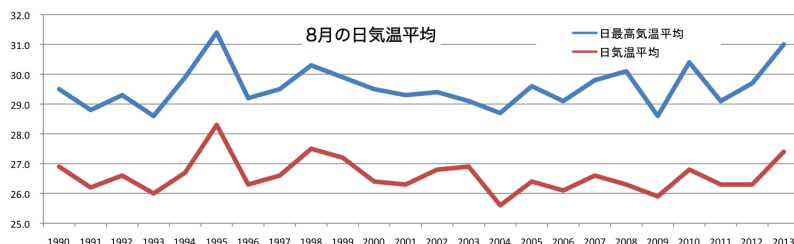
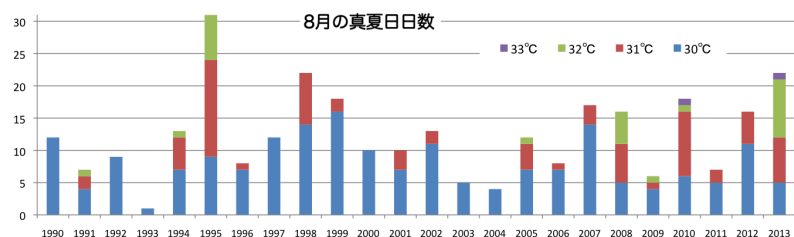
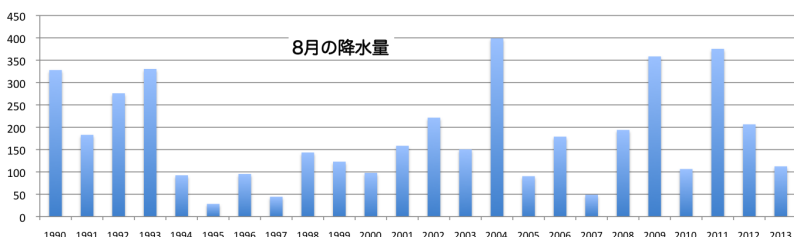
さて、今回は「暑くてさらに雨が降らない」「島にはいないはずなのに」「秋の渡りが始まった」についてのお話です。

暑くてさらに雨が降らない

全国的に、大雨や渇水と異常気象が続いていますが、ここ八丈島も例年とはかけ離れた気象状態です。

7月から続いている少雨は8月に入っても変わりなく、25日から27日にかけて86.5mmのまとまった雨が降ったおかげで、どうにか100mmを超えることができました。それでも4日から24日まではほとんど降らず、八丈町の防災無線で**節水のお願い**が放送されるほどでした。水の豊かな八丈島ではとても珍しいことなのです。夏は台風がひとつでも近くを通過すると降水量はあつという間に増えてしまうので、比べるのも難しいですが、1990年からの8月の降水量を調べてみました。やはり今年は少ない方ですね（グラフ上段）。

さらに、気温も高く、8月19日の最高気温は**33.3℃**を記録し、統計期間（1906年6月～現在）の**5位タイ記録**となりました。この夏は各地で猛暑日（最高気温が35℃以上の日）が続



気象庁気象統計情報のデータより作成（2013年は8月29日までのデータ）

いていますが、**八丈島では過去に猛暑日を記録した日は一度もない**ので、この33℃を越えた日が、島ではとても暑かったことが分かります。グラフ中段の真夏日の日数を見ると、真夏日日数が多いことに加え、**32℃台の日（緑棒）が多い**のも分かります。

また、最高気温が高いのに加え、最低気温も高くなっています。島では海からの風の影響もあり、熱帯夜（最低気温が25℃以上の日）が少なく、夜は過ごしやすいたはずですが、この夏は夜になっても気温が下がらずに、寝苦しい日が多かったです。

グラフ下段の日平均気温は8月だけのものですが、今年の8月は**27.4℃**で統計期間中（8月以外も含め）**3番目**に気温が高い月となりました。グラフからも分かるとおり1番目は1995年8月の28.3℃です。

このまま暑さが続くと体調管理が大変になってきます。できれば9月以降は少し涼しくなってほしいものです。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島にはいないはずなのに

八丈島に棲む生き物は、いろいろな手段で島に渡って来ました。風に運ばれたもの、海を渡ってきたもの、鳥に運ばれてやって来たもの、自分の力で飛んできたもの、そして人の手によって持ち込まれてしまったものなどさまざまです。人が持ち込んだ中には、あえて放したわけではなく、園芸植物や荷物などに紛れて入り込んだものもあります。

そしてこの夏、今まで島にはいなかった昆虫が見つかりました。その昆虫は「セグロアシナガバチ(写真右)」。

これまでスズメバチ科の刺すハチは島の中では確認されておらず、安心していたのですが、今回発見され、**注意が必要**になってきました。(養蜂のためのセイヨウミツバチは持ち込まれています)

セグロアシナガバチが見つかったのは、三根富士見地区。家の近くに巣があり、ハチが水を飲みに来ていると連絡があり、確認しに行ってみると、数匹のアシナガバチが翅を使って巣を冷やす行動をしていました。巣もある程度出来上がっていて(写真右中)、来年の女王蜂が羽化する前に、対処しなければならぬ状態でした。外来種と言うことでアシナガバチには可哀想ですが、巣ごと処分し、一部を標本として残しました(写真下)。しかしその後、初めに見つかった場所から少し離れた場所でも見つかり、さらに他に巣があるという話も聞いています。



アブラゼミ

また、八丈島で見られるセミはツクツクボウシの1種類だけですが、定期船が着く底土栈橋で、死んでいる「アブラゼミ」が発見されました。捕まえられたものであれば、傷が付いている可能性が高いはずですが、このセミの脚や翅には傷が全く無いので、**島の中で羽化した可能性**もあります。



メス



オス

セグロアシナガバチ

どのような経緯で島に入り込んだか分かりませんが、もし人の手が関与して入り込んでいるのであれば、在来種に与える影響もあるので、可哀想ですがこのような生き物は駆除していかなければなりません。

秋の渡りが始まった

今年は夏真っ盛りから南下の鳥たちの姿がチラホラと目に付きました。**ムクドリ**は珍しく幼鳥が渡って来ています。**アメリカウズラシギ**は2004年9月以来の9年ぶり、**ヤツガシラ**は春に記録が多く、夏に渡ってきたのは2008年8月以来の5年ぶりになります。シギ・チドリの仲間も少ないですが渡り始めてきています。これからが渡りの本番。今年はどんな鳥がやって来るかととても楽しみです。



ヤツガシラ



ムクドリ(幼鳥)



アメリカウズラシギ



タカブシギ



キアシシギ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 8 月 11 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 25 年第 8 回）参加者：沖山、黒田、菊池昭、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			34	タケダグサ	花と実	10	ハゼノキ	実
1	アオツツラフジ	実	35	タチスズメノヒエ	実	11	ハチジョウキブシ	実
2	アオノクマタケラン	実	36	チチコグサ	花	12	ヒメユズリハ	若い実
3	アキノエノコログサ	実	37	ツメクサ	実	13	ホウライカズラ	実
4	アシタバ	実	38	ツルボ	花	14	ホルトノキ	若い実
5	アメリカスズメノヒエ	花と実	39	テリハノブドウ	実	15	モッコク	若い実
6	イガガヤツリ	実	40	トウバナ	花と実	16	ヤブツバキ	実
7	イヌガラシ	花と実	41	トキワハゼ	花	17	ヤブニッケイ	実
8	イヌクグ	実	42	ニワホコリ	花	シダ植物		
9	イヌホオズキ	花と実	43	ノシラン	花	1	オオタニワタリ	
10	イワニガナ	花	44	ハキダメギク	花	2	タマシダ	
11	ウスベニニガナ	花と実	45	ハナイバナ	花	3	ナチシケシダ	
12	ウラジロチチコグサ	花	46	ハハコグサ	花	4	ノキシノブ	
13	ウリクサ	花	47	ヒナギキョウ	花と実	5	ヒトツバ	
14	エノコログサ	実	48	ヒメクグ	実	6	ワラビ	
15	オオアレチノギク	実	49	ヒメヨツバムグラ	花と実	7	ホシダ	
16	オオバコ	実	50	ブラジルコミカンソウ	花と実	8	カニクサ	
17	オニタビラコ	花	51	ヘラバヒメジョオン	花と実	9	ミジソダ	
18	カタバミ	花と実	52	ホソバツルメヒシバ	実	10	ハチジョウカナワラビ	
19	カヤツリグサ	実	53	ミツバ	実	11	オオイタチシダ	
20	キツネノボタン	花と実	54	メヒシバ	実	12	ヤマイタシシダ	
21	キランソウ	花	55	ヤブガラシ	花	13	タチシノブ	
22	キンゴジカ	花と実	56	ヨツバムグラ	花と実	14	ホラシノブ	
23	クズ	花	木本			15	ハチジョウベニシダ	
24	コゴメガヤツリ	実	1	アカメガシワ	熟した実	16	タチクラマゴケ	
25	コナスビ	花	2	イヌザンショウ	実	17	オニヤブソデツ	
26	コニシキソウ	花と実	3	イヌビワ	実	18	ハチジョウシダ	
27	コマツヨイグサ	実	4	エノキ	実	19	スギナ	
28	コミカンソウ	花と実	5	オオムラサキシキブ	実	20	ウチワゴケ	
29	ザクロソウ	花と実	6	ガクアジサイ	若い実	21	ハカタシダ	
30	シチトウスミレ	実	7	カラスザンショウ	実	今回はシダ植物 21 種を含む 94 種の植物を観察しました。珍しくカラスバトの鳴き声も聞こえました。		
31	シマササバラソ	実	8	シマクサギ	花			
32	シマスズメノヒエ	花と実	9	トベラ	実			
33	セイヨウタンポポ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、8 月中旬から下旬が見頃の「ナツエビネ」にスポットを当ててみたいと思います。



ナツエビネ *Calanthe puberula* var. *reflexa*

ラン科の多年草。本州、四国、九州に分布しています。

八丈島では三原山や八丈富士の少し湿った場所に生えます。高さは 30cm 以上にもなり、8 月中旬頃から薄紫色の花を咲かせます。

【環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類】

【富士箱根伊豆国立公園指定植物】

2013 八丈ビジターセンター 9 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 01:35 08:35 15:48 21:18	2	3	4	● 5	6	白露 7 ガイドウォーク 05:54 12:01 18:11
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:34 00:16 18:37 12:33	9	10	11	12	☾ 13 ガイドウォーク 14:05 06:04 23:58 18:54	14
15 ガイドウォーク 07:34 20:25 15:00	16 ガイドウォーク 01:45 08:40 15:38 21:15	17	18	○ 19	20	21 ガイドウォーク 06:00 11:55 17:57
22 ガイドウォーク 06:39 00:12 18:21 12:24	秋分 23 ガイドウォーク 07:18 00:46 18:45 12:52	24	25	26	☾ 27	28 ガイドウォーク 八文学講座 「秋の植物観察会」 「八丈島特別セミナー・シンポジウム」 13:17 05:02 22:46 18:07
29 ガイドウォーク 「八丈島特別セミナー・自然観察会」 06:35 20:11 14:22	30 01:06 07:49 14:56 20:52			この色の日は 特別行事があります		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

9/8 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 15名

八文学講座 「秋の植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、鴨川ホタル水路で秋の植物たちを観察します。

9/28 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
鴨川ホタル水路集合・解散 参加費: 50円 定員: 15名

特別行事 「八丈島特別セミナー・シンポジウム」

伊豆諸島の植生、植物、環境調査研究に関わってきた研究者・OB から構成された伊豆諸島植生研究グループによるシンポジウムをビジターセンターにて開催します。

9/28 (19:30～ 約1時間半) 中学生以上 参加費: 無料 定員: 55名

特別行事 「八丈島特別セミナー・自然観察会」

前日に引き続き伊豆諸島植生研究グループにより、植生調査の実習などを行う予定です。

9/29 (10:00～ 約2時間) 中学生以上
現地集合・解散(場所は未定) 参加費: 50円 定員: 20名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.9.1 第148号

開館時間 9:00～ 16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888

編集後記

駆除しなければいけないと書きましたが、現在、島の中にいる植物や昆虫は、どれが人為的に移入して来たのかははっきりと分かりません。守ろうとしている生きものたちも、本来は外来種だったのかもしれない。そう考えると、とても難しい話です。(高)